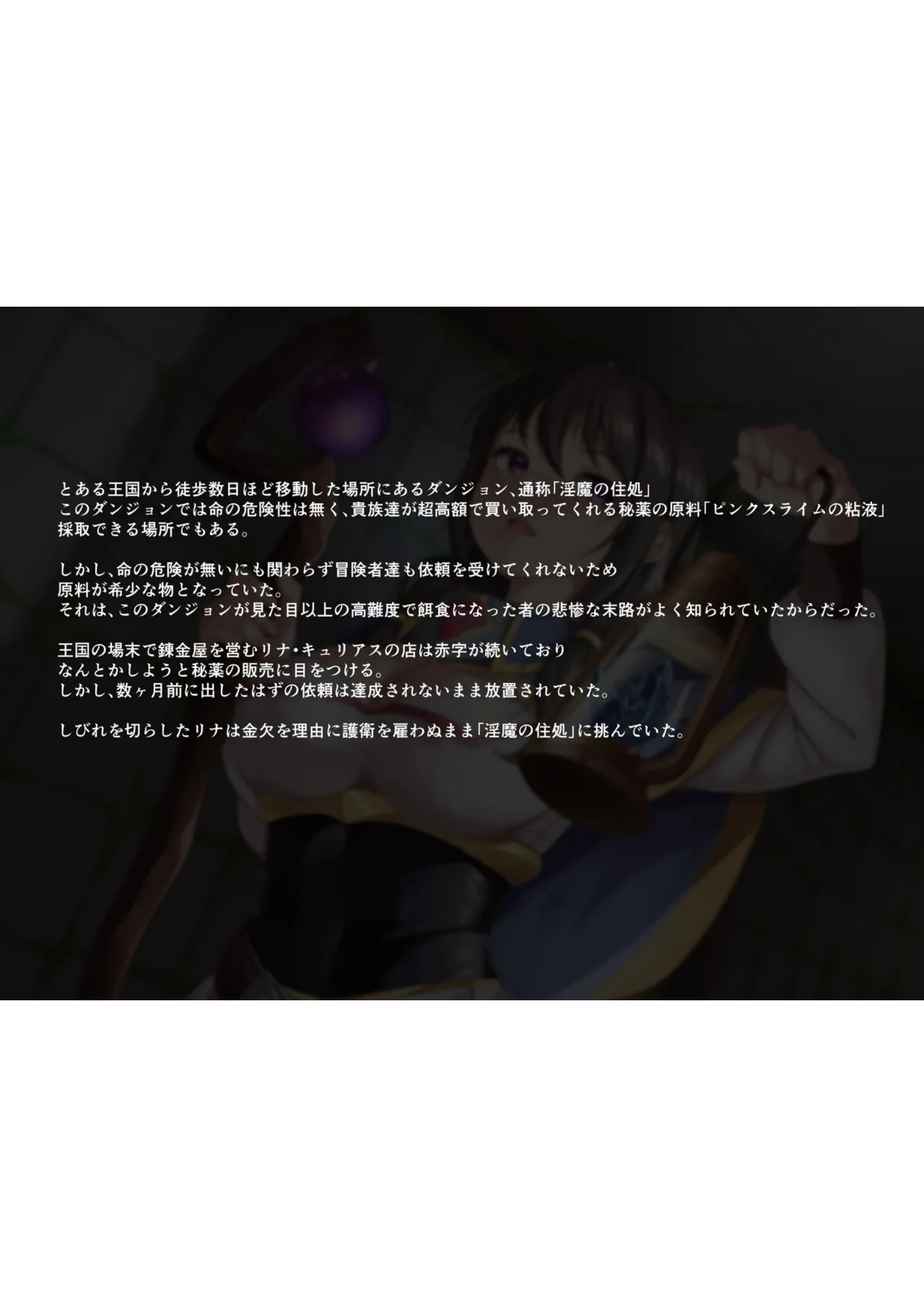




とある王国から徒歩数日ほど移動した場所にあるダンジョン、通称「淫魔の住処」
このダンジョンでは命の危険性は無く、貴族達が超高額で買い取ってくれる秘薬の原料「ピンクスライムの粘液」
採取できる場所でもある。

しかし、命の危険が無いにも関わらず冒険者達も依頼を受けてくれないため
原料が希少な物となっていた。
それは、このダンジョンが見た目以上の高難度で餌食になった者の悲惨な末路がよく知られていたからだった。

王国の場末で錬金屋を営むリナ・キュリアスの店は赤字が続いており
なんとかしようと秘薬の販売に目をつける。
しかし、数ヶ月前に出したはずの依頼は達成されないまま放置されていた。

しびれを切らしたリナは金欠を理由に護衛を雇わぬまま「淫魔の住処」に挑んでいた。

ここが「淫魔の住処。」…なんだかジメジメしてて
生臭いような…あんまり長居したくないな…
まったく…たかがスライムの粘液を取ってくるくらいなのに
誰も依頼を受けてくれないなんて…

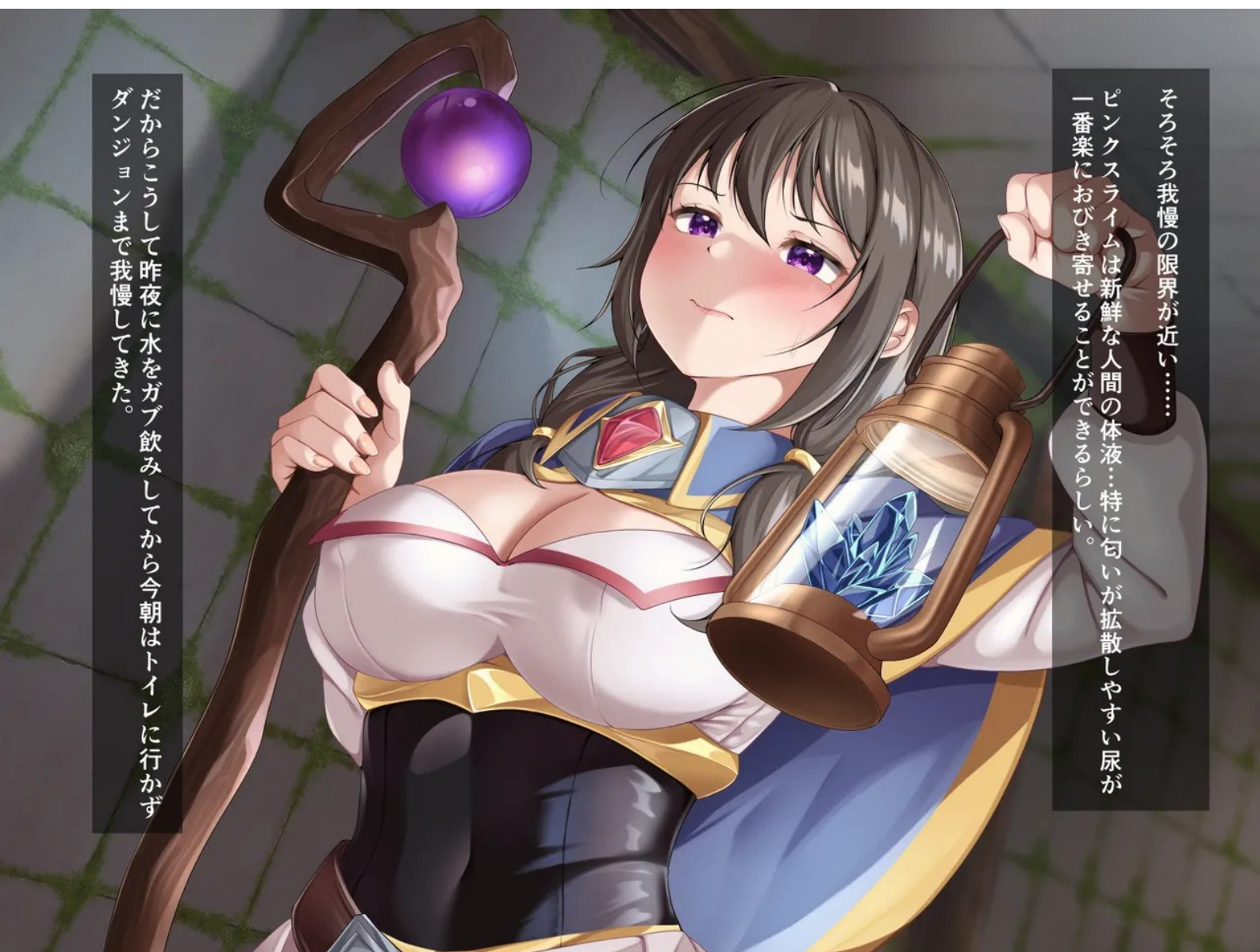
今月の家賃もヤバイしきつさと秘薬を作って貴族どもに
売り払ってやろう。



そろそろ我慢の限界に近い……

ピンクスライムは新鮮な人間の体液…特に匂いが拡散しやすい尿が一番楽におびき寄せることができるらしい。

だからこうして昨夜に水をガブ飲みしてから今朝はトイレに行かずダンジョンまで我慢してきた。





うっ！...や...ヤバイ...ち、ちよつと漏れた...
一歩踏み出すたびに膀胱が決壊しそう...っ！

最初からここで出すつもりで来たけど...
漏らすのは違う...



ふう...ふう...
結構深くまで入ったけど
誰にも会わなかったし...

ハ？...

ハ？...

やみゆきさん...
やみゆきさん...
やみゆきさん...

持っていた杖やランタンを投げ捨てるように置き
大急ぎでパンツを下ろしながら腰を下ろす：
ずっと我慢しながら歩いたせいで汗でベチャベチャだ：

はあ…はあ…
やっとおしっこ出来る…

ん…

ん…

なんでスライムが
こんな変な性質持ってるのよ…





ふう…ただ股間の力を抜いただけで勢いよくおしっこが
出てくる…
今までの苦痛が嘘みたいに消えていく…



あたりにはムワッとしたアンモニア臭が広がり
これならば十分獲物もおびき寄せられるんじゃないかな？

はぁー...それにしても
全然止まらないなあ...

どんだけ溜まってたんだよ...

相当溜まってたのか勢いが衰えない...
いつも以上に長いおしっこに見入って周りの警戒を怠ってしまった。



べちゃっ、という音と肩に軽い衝撃を覚え目を向けると
ピンクっぽい粘液がマントにへばりついていていた。

べ
ち
ゃ
っ

ん
…
?

ぼーっとしていたせいか一瞬何が起きているのか気付かなかった。



自分の肩に落ちてきた物に気付いたとき
信じられないくらいマヌケな声が出してしまった。

おしっこ中で意識が緩んでるせいで判断が遅れる。



ようやく状況が飲み込めて慌てるも全然おしっこが終わってない……！

がっ
あ、あ、
ち、ちとせ
まゐ！？

尿が一番寄つて来ると聞いていたけど
こんなにすぐに来るとは思っていなかった！
急いで済ませようとお腹に力を入れるが
この判断は間違っていた……



サツと横に目を向けると杖がスライムに飲み込まれつつあった。
スライムのような魔物には物理攻撃が非常に効きづらい。
錬金術しか取り柄のない私は杖がなければ魔法も使えない。

なっ、あぁっ!!
杖がっ!!

おしっこの勢いも弱まってきていたが慌てて杖に手を伸ばそうとするが…





痛あつ!?

くうう...おもいつきり自分のおしっこの上に尻もちをついてしまった...

びしゃ

ん

ひぢ

ひあああっ!?

ちょ、ちょっと
こんなに大量にいるなんて聞いてないッ!

体に降りかかるスライムを払いながら周りを見ると
壁や天井、床の隙間からスライムがどんどん染み出してくる。





あ……やっとなりました……

こんなの対処しきれない
早く逃げないとっ！

おしりがおしっこ塗れだけど拭いてる暇はない……
とにかく杖だけでも回収して早く逃げよう！

なんとか立ち上がろうとしていたらジワジワとスライムがくっついた部分が溶けていく。

なにっあぁ…っ!!

服が…っ、溶けて!!

腰が抜けてしまったのか足に力が入らない…、なんでこんな時に…ッ
そうやって手間取っているうちにもスライムの量が増えていく。



天井から落ちてきたスライムが体中に降り掛かり
下着まで溶けてきた。なんとかしようと思っているのに
体が思うように動いてくれない。

ああああ…クソッこんな時に
なんで足に力が…ッ

どろろ

ああっ、嫌ッ、こっちに
来るなああっ

冒険者たちがなぜ依頼を受けてくれなかったかこれでよく分かった…
こんなに大量のスライム、対処できるわけがない…
護衛も雇わずこんな所に来た後悔が頭の中でグルグル回る。

コッポ
。。

コッポ
。。



大きな塊になったスライムが足に掴みかかってきた。
思った以上に力が強く足を引っ張られる。

ひびひびっ!?
嫌ッ触るなあッ!?

ああああ……ッ
誰か…助けてえ…ッ

キッ
チッ

ニ
ュ
ル



こうして通路を埋め尽くすほどのスライムに飲み込まれていく



スライムの中は見た目以上に固く必死に藻掻くが拘束具を着けられたように動けなくなっていく。

はぁ...はぁ...
じじいの動けな...ふ...ふ...

あぐ...うう
く...く...く...

こんなことをしている間にも私の服はどんどん溶けていく。
このままじゃいずれ私も溶かされて...嫌な想像が頭に浮かぶ。



うぐぐぐ……っ！……だめだ……スライムは内側を自由に動かせるのか
柔らかいのに関節が固められて動けない…

く……ううう
こんな所で死にたくないっ！

なんとかか…
なんとかしないと…!!

必死にこの状況をどうにかする方法を考えるが何も浮かばない…



何も出来ずに藻掻いていたらシュワシュワ音を立てながら急激に服が溶け始めた。

ひああああっ!!

ふ、服が一気に!?

ああああっ!!ダメダメダメッ!!まって!!
まだ死にたくない!!嫌あ——!!



あ…あれ……？急激に服が溶け出したから焦ってていたけど…
一向に皮膚が溶ける感覚がない……？

も…もしかして…
溶かしてるのは服だけ……？

でも…油断も出来な……
う……



結局、服も装備も全部溶かされてしまった……結構貴重な物だってあったのに……ううう……でも身体は溶かされてない……

このスライムは体液に寄ってくるってことは……？

もしかして……体液を提供すれば助かる……？

もしかしたら生きて帰れるかもしれない……こんな格好で見つからず帰るのはキツイけど……私の予想……当たって……っ！



スライムが盛り上がり触手のような形をして私の顔にゆっくり近づいてくる…

ひぁッ!? な、何?

う…

ニル…

ヌル…

ちよつ、ちよつと
何を…っ?

顔に近づくってことは唾液とかを吸収するためだろうか…?
こんなヌメヌメしたものを口に入れるのは抵抗が…





んぐぐぐう——ッ!? こ、こいつッ、喉の奥にッ!?
無理矢理お腹の中に入ってくるッ!?

んぐ

おッ
ッギ

ッポッ

舌で押し出そうとしてるのにどんどん口の中に入ってくる…っ!
う…い、息が出来ない…!?





お、あっ、あ、あ……ぐるじ……し、しんじゃう……
も、もう、これ以上つ、入らない——………つ

もう……だめ……い、意識が、あ、ああ……

はあ…はあ…し、死ぬかと思った……
う…ぐうう…お腹…苦しい……

こんなにスライムを飲み込んでしまっただ丈夫なの……？
お腹の中でグルグル動いてるう…ど、どうすれば……





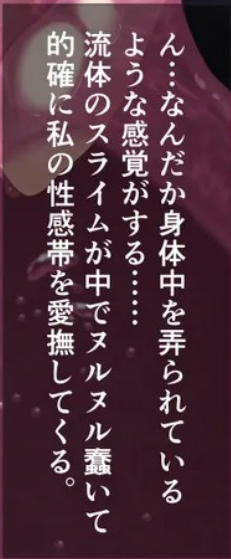
はぁ...

はぁ...

ふう...ふう...身体が熱い...
さっきのスライムのせい...?
より体液を出させるために
わざわざあんなことを...?

ゴボ...

ゴボ...





はあ…はあ…な、なんだか急に胸が
張って来て乳首がジンジンする……
今はそんな時期じゃないはず……

うう…気持ちいい……
ぬるま湯に浸かりながら
性感マッサージ受けてるみたい…

ヌ
ルッ



——ッ!?!
スライムが体内で蠢くたびに
耐え難いほどの快感が腰から
広がってくる!?

あ、くっ
嫌ッ、ああん♡

ひぁっ!?!
す、スライムが
中にッ

股間に圧力を感じたと思ったら
ヌルッと膣口とアナルをこじ開け
スライムが体内に侵入してくる。

く
ぽっ

く
ちゅ

く
ちゅ

ちゅ

ちゅ



な、なにこれえッ!!
どう見ても胸が一回りは大きくなってる!!
今にもはち切れそうなくらいパンパンに張って
恐ろしくなってくる...

な、
なんて
ニムを
どう?

ん!?
え?
え?

スライムの様子を見てみると
ジワジワと胸が膨らんでいつているのに
気付いた。



おおっ♡……あひあっ♡
だっ、だめっ、♡イクっ
イクっ、イグウウウウッ♡

ひっ、イッ!? スライムがより深いところまでッ!?
まさか、子宮の中まで入ってッ!?
スライムが触れている部分の感度が跳ね上がって
快感で頭がどうにかなりそうッッ!?

ボ

コッ





こんなこと何回も続けられたら
身体が持たない……
逃げられないのに、ど、どうしよう……

はあ、はあ……し、死ぬかと思った……
スライムの中が白っぽく濁ってる……
これ……母乳……？まさか……より体液を
搾り取るために身体が変質させられた……？



自在に形を変えて胎内を蹂躪され全身の体液を絞り出されていく。

イツぎぎぎいいー……！
も、もうゆるじでええええ……！これ以上は
身体が持たないいいーっ！

イッ♡

キ♡

はっ♡

キゅ♡

キゅ♡

ぐちゅ

ぐちゅ

ブルッ



いっせいで
また子宮の中だよ

ハ♡

ハ♡

ハ♡

だ、ダメダメダメ♡
いま、刺激される場所増やされたら♡
ほんとに、壊れちゃう♡♡♡

頭ではこれ以上は本当にダメだって分かっているのに…
イクのが癖になってもっと気持ちいいのほしいうって思ってしまう…

又
4"4"2"

7"4"2"

んんっ…♡スライムが奥をグリグリしてきて…う…ぐうう—
おヘソの下がどんどん疼いてくるううう…!!

ふっふんひゅん♡♡

こいつ!?
どんだん奥に入ってくるうッ♡

ううううう—っ、す、スライムがつ
子宮口が押し広げられ子宮の中になだれ込んでくるッ♡

グッ
ニッ
ニッ
グッ.



おほっ♡おおおおおおおお——ッ♡♡♡
ヤバッ♡ヤバイッ♡お腹ッ、はち切れちゃうッ♡♡♡
子宮と腸内でスライムが動き回ってッ、どこでイッてるのかわかんないッ——♡

おッ
おッ
おッ

おッ
んッ
おッ

ニ
イッ

ジ
ュ
ッ

ホ
ッ
ッ

は——ッ、は——ッ、や、やっ……止まった……
イキすぎて、死ぬかと思った……
ま、まだ余韻が凄すぎてぼーっとしてしまう……

スライムの中で私の体液が溶けてだんだんと白濁してきて……
こいつ……どんだけ体液を吸収したら気が済むの……？



うっ、あ……お腹の中でまた動き出した…!?
あ……ああ……も、もういい……イキたくない、イキたくないッ!

ひっ

ま、
まだ、
来る。

又
イッ

ギッ
ユル

ギッ
ユルッ

イッ
イッ
イッ

お、ああ、来る♥来ちゃうッ♥♥ああああッ
イ、イクッ♥またっ、イクッ、イグウううッ♥♥





あ~~~~、おっ♡
あ、頭ッ、こ、壊れる♡気持ち良すぎて壊れるう♡♡♡

だめ……もう……な、なにも、考えられない……
全身を駆け回る快感に意識が支配されていく。



またスライムが子宮の中に入ってこようとしてくる。

うん……おもしろい……
おもしろい……おもしろい……

もう無理！
嫌だ、嫌だいやだああ！

ああああ…嫌なのに刺激を受けるたびに子宮がどんどん疼いて
またイキたいって思っちゃう♡





は~~~~♡あひつ♡はあ♡はあ♡
あ、あたま、こわつ、こわれちゃったあ♡♡♡

あひつ♡

あひつ♡

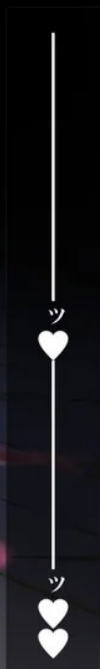
あひつ♡

あひつ♡

ずっとイク感じが続いて気持ちいいのがずっと続いてる……♡
ん……♡あ……♡……♡つはあ……♡へへ……♡



このまま私の身体から体液が出なくなるまで
スライムに蹂躞され続けた……







ビュッ

んがっ♡

ブリッ

ドロー!!

ビュッ

おがッ♡

た

ぽんっ



お…へえ……♥……ぜ、ぜんぶ……で、たあ……♥
や…やっと……スライムが…減ってきた……
もう…何も……出ない……

よ、余韻が、すごすぎて……ち、ちからが……はいらない……
……い、いまのうちに……帰らない……と……
う……だめ……も……眠い……





完全に気を失った私はその後、記憶は曖昧だが
目を覚まし、フラフラと人目を気にする余裕もなく家に帰った…



はー！

はー！

ぐちゃ

ぐちゃ

あれから数日が経った……
あれから私の身体は常に性欲が溢れ出る様になり
ふと気を抜くと1日中オナニーしてしまうようになってしまった…

なんとか店は開いてはいるが性欲を抑えられず早仕舞いを繰り返し
売上がどんどん減っていつている…
借金してなんとか家賃は払ったものの……
このままじゃ……





このままじゃダメだって頭では分かってるのに
身体が勝手に動いてしまう……

商品だって作らなきゃ…在庫だって余裕が無くなってきてる…
これが終わった今度こそ仕入れを……ッ

フーッ♡

フーッ♡

フーッ♡

イ♡♡

ぐっふっ

ぐちゃ

ぐぼっ

あつ、あつ、き、来たッ♥またすごい強烈な絶頂感がこみ上げてくるッ♥
閉じきらなくなってしまうたアナルを締めるように力を入れて
全力でイクのを我慢してからイクと何もかも忘れるくらい気持ちいい♥

んおっ♥
来たッ♥

イクッ♥
イクッ♥
イクッ♥
イクッ♥

ぐちっ♥
ぐちっ♥
ぐちっ♥
キュッ♥

イクのを我慢していると肥大化したおっぱいがどんどん張って来るのを感じる…
私がイク時、男性の射精みたいに母乳が勢いよく吹き出してしまってる……



ビッ
ン

お
お

人
ほ
お
お

あ
い
い
い
っ

キ

ビッ
ン

ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ

あ~~~~♡ひゃひっ♡は——♡はあ——♡
き、きもち、よすぎる……♡きもちいいのがずっと続いて
何もかもがどうしても良くなる……♡

あれだけ激しくイッてもオマンコから手を離せない……
絶頂の余韻とともにまたジワジワと股間が疼いてくる……





も……もう一回だけ
しちゃおうかな……♡

ハ———♡
♡♡♡♡♡

あ——……ダメだ♡また抑えられなくなってきた……♡



あと一回が止まらず何度もしてしまい
今日も店は開けられず一日が終わった……



エロスライムダンジョン

～スライム素材を取りに来たはずが快楽漬けにされました～